

わんにゃん新聞 # vol.7

みなさん、こんにちは。
気温も湿度も上がって暑くなってきましたね！
こんな季節は人間でさえ過ごしにくいのですから、
毛皮を脱ぐことのできない私たち、犬・猫は大変です。
今回のテーマは『夏に多い病気』です



かゆい!!

あたたかくなり、寄生虫はモチロン、カビや細菌も増殖しやすくなります。
皮膚病の50%はかゆみを伴います。
今回は夏におきやすいノミアレルギーとホットスポット(急性湿疹)を紹介します。

ノミアレルギー

ノミの成虫が見つからなくても体や毛の付け根にゴマのような黒い粒(ノミの糞)が見つければ、かゆみの原因はノミと考えられます。

1匹のノミに吸血されただけでかゆくて皮膚病になる子もいます。

背中から腰、しっぽにかけて脱毛や赤いブツブツが見られます。

そんな皮膚炎にならないためにもノミ駆除剤

(当院では犬ちゃんにはフロントラインプラス、猫ちゃんにはレボリューション)
を定期的に使用することで予防ができます。

皮膚炎になる前に、飼い主さんが刺される前に、きちんと予防をしましょう。

1か月に1回
つけるだけで
もうノミなんて
怖くない!!



ホットスポット(急性湿疹)

ベタベタとした汁を伴い、赤くただれた様になってしまいます。

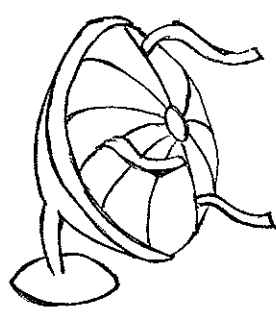
かゆくて噛んだり、舐めたり、引っかいたりして数時間でなってしまう。

放置するとあっという間に症状が悪化するため見つけたら早めに御来院ください。



皮膚病は原因がきちんと確定していてもなかなか治らない厄介な病気です。
大変ですが、根気よく治しましょう。

ご意見・感想など
募集中!!
素朴な質問や
今後取りあげてほしいテーマ
どんなことでもかまいません!
お待ちしております。
info@on-vet.com



熱中症



ANIMAL トリビア
東京の夕摩川
にはセラニアが
いる...!!

5月~11月までは
セラニア予防注射に!

小さな命を
大切に。
西川動物病院
43-0200



ちなみに...
7月26日は
院長の67回目の
誕生日だわん!



ラブ
女責:古賀

熱中症とは?

体温が40度以上に上昇し、よだれや嘔吐・下痢などの症状が出て、多くの臓器が障害を起こす場合もあります。ひどい場合にはケイレンを起こしたり、意識がなくなってしまうこともあります。

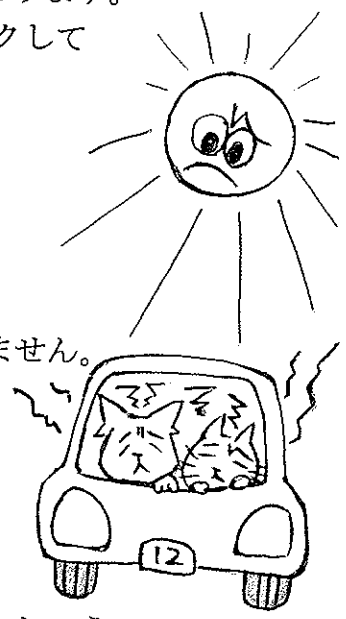
熱中症にならないために...

散歩は朝早くか夜遅くに。

炎天下のアスファルトの上のお散歩はやめましょう。アスファルトが50度近くにも熱を持っていることがあります。お散歩する前に手でアスファルトが熱くないかチェックして熱くなければ大丈夫です。

蒸し暑い車内でのお留守番は絶対にダメ!!

日差しが強く当たる車内は熱がこもって温度が急上昇し、たった数分で熱中症になってしまいます。人間でも耐えられないのに動物が耐えられるはずがありません。



お家での留守番

室内でのお留守番はエアコンをつけてあげてください。室外でもお留守番は日陰で風通しのよい所にしましょう。よしず等で日陰を作ってあげるのもよいでしょう。お水は小まめに何回も変えてあげて、日陰においてあげましょう

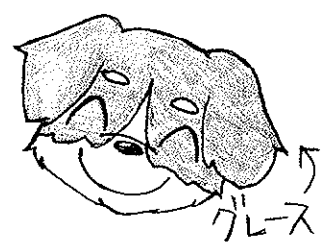
特に注意!!

日本犬(柴犬など)やハスキーなど毛が密に生えている犬種や短頭種(シーズーやブルドックなど)、肥満ぎみの子は熱中症になりやすいので特に注意が必要です。



HAPPY BIRTH DAY!!

5月21日はバーニーズマウンテンドックのグレースの誕生日、6月10日はウエルッシュコーギーのラブの誕生日でした。グレースは12歳、ラブは7歳になります。



これからも西川動物病院の看板犬として頑張りますのでよろしくお願ひします!!